

エピソード⁶ 自慢の家臣

5月3日(5日目) 興津・江尻間の清見寺

興津から江尻へ行く途中で、^{せいけんじ}清見寺に立ち寄った。住職によると、ここはむかし、関所だったそうだ。

本堂に入ると、金の位牌があった。これは、石田三成を召し捕らえた田中伝左衛門という人物の位牌らしい。その父母の位牌も並んでいる。位牌の裏には・・初めの部分は忘れてしまったが、銘文があった。

「末ニ為仕官住_二越前国_一矣」

たしかに、予の家臣に田中伝左衛門（当時は大番）という者がおる。かの家のことだ。これはこれは・・うれしいの！

あっぱれ！



ふる石田三成を捕らへた田中伝左衛門の位牌の裏に
末ニ為仕官住越前国矣とある。予の家臣に田中伝左衛門
という者がおる。かの家のことだ。これはこれは・・うれしいの！
左衛門が家也誠なり。予の臣下ニある田中伝左衛門の
位牌の裏に末ニ為仕官住越前国矣とある。予の家臣に田中伝左衛門
という者がおる。かの家のことだ。これはこれは・・うれしいの！